

## 特定非営利活動法人気候ネットワーク 2010年度事業報告

### ○2010年度の活動について

2010年度の主テーマとしては、国際的な働きかけと国内政策の強化、地域レベルの対策促進をリンクさせることに焦点をあて、地球環境基金からの助成を得てこれに取り組んだ。幅広い活動であったため、具体的な成果は見えにくい側面もあったが、活動を通じて関係NGOや団体、自治体等との連携が深まった成果があった。

国連交渉では、2009年末のコペンハーゲン会議でコンセンサスを得られなかったという結果を経て、2010年度も困難な交渉が続けられており、引き続き野心的な法的合意に向けて活動を展開した。2010年末に開催されたカンクン会議では「コペンハーゲンショック」からの回復と次に希望のもてる「カンクン合意」が採択されたが、最終合意にはまだ届いていない。

国内では、「地球温暖化対策基本法案」と関連する主要3施策の望ましい内容での成立に向けて、MAKE the RULEキャンペーンとあわせて働きかけを行った。しかし、法案の内容は問題も多く、また2011年5月現在においても、本法案は、継続審議のままとなっている。

低炭素経済・社会を地域からも構築するための活動にも取り組んだ。具体的には自治体間の政策連携、条例・計画、仕組み、ロードマップ等に関する調査・提案を行った。自治体から受託した温暖化防止教育プログラムが、気候ネットワーク事業の大きな割合を占めた。

2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故は温暖化対策・エネルギー政策に大きな影響を与えるものであり、情報提供・提言等、急遽その対応も行った。

会員向けのアンケート調査、会員交流会も実施し会員の増加やファンドレイジングにも取り組んだが、今年度中にはまだ十分な成果は得られていない。

### 1 国際交渉対応

コペンハーゲン合意を受け、野心的な法的合意を実現させるため、一連の国際会議（AWG、SB、AWG、COP/CMP）に参加し、Kikoの発行、CANと連携したロビー活動等を行った。国内外の他のNGO等とも連携して、国内対策の指針ともなる国際合意づくりを目指した。参加した国際会議は次のとおり。

AWG：ドイツ・ボン、4月9日～4月11日

SB：ドイツ・ボン、5月31日～6月12日

AWG：中国・天津、10月4日～9日

COP16/CMP6：メキシコ・カンクン、11月29～12月10日

### 2 国内対策

2009年9月の政権交代後、25%削減の目標が公約となったが、それを具体化する「地球温暖化対策基本法案」の成立、及び国内の対策を進めていく制度構築は進んでいない。気候ネットワークは、法律の実現、大幅削減の中期目標の設定、効果のある政策の導入、地域の対策促進にむけて働きかけた。国全体の政策としてキャップ&トレード型排出量取引制度、炭素税、再生可能エネルギー買取補償制度などの導入に向けた活動を行った。

### 3 低炭素のまちづくり

地域レベルでも、大幅削減のビジョンを持ち、削減が担保できる仕組みづくりを進め、低炭素のまちの実現に取り組んだ。自治体の条例・計画に関する調査・研究・政策提言、各セクターの削減可能性の調査・研究と関連する実践活動を行った。

#### 4 シンポジウム等

国際交渉・国内対策等の動向にあわせて、情報共有・意見交換をおこなうシンポジウム等を開催した。

#### 5 委託・助成関係

国際交渉と国内対策をつなぐ活動で地球環境基金からの助成を受けた。自治体等と連携・協力したプロジェクトを受託し、温暖化防止活動の実践・調査等を行った。

#### 6 その他

国内外の温暖化政策・対策、先進事例等に関する調査・研究。気候ネットワーク通信（隔月）の発行。メールニュースの発行。他のNGOやネットワーク、MAKE the RULE キャンペーン関連団体、地域組織等と継続的な支援・連携活動を行った。

### ○事業区分ごとの活動リスト

#### 1 市民啓発・情報提供

- (1) 国内対策連続セミナー（9/16、10/19、11/8）
- (2) セミナー・シンポジウムの開催
  - ・ 低炭素のまち京都をめざす懇談会（4/16、5/16、6/4）
  - ・ 公開シンポジウム（6/3）
  - ・ 気候変動政策をどう進めるか（6/17）
  - ・ 各党の環境政策を聞く（6/18）
  - ・ ボン会議（SB）報告（6/24）
  - ・ 総会、シンポジウムの開催（6/26）
  - ・ ボン会議報告会（8/30）
  - ・ フロン対策シンポジウム（9/17）
  - ・ 天津会議報告会（11/8）
  - ・ 市民が進める温暖化防止2010（11/20～21）
  - ・ ロシアの森林火災・異常気象と気候変動（11/22）
  - ・ COP16/CMP6報告会 東京（1/13）、京都（1/21）
- (3) 情報の整理・発信
  - ・ ニュースレター（第72号～第77号）発行
  - ・ 国際交渉通信「Kiko」の発行
  - ・ メルマガ発行（第25号～第47号）
  - ・ ホームページの改訂・更新
  - ・ 年次活動報告書の作成
  - ・ 地球環境基金助成による冊子「持続可能な低炭素社会づくりに向けて」の作成
  - ・ コミュニティFM「ラジオカフェ」での放送
- (4) MAKE the RULE キャンペーン【実行委員会に参加・事務局担当】

#### 2 調査・研究・提言

- (1) 2013年以降の枠組みに関する国際交渉について
- (2) 自治体の対策と地域・経済の活性化について
- (3) 経済的手法（炭素税・排出量取引等）の調査・研究と提言
- (4) 情報公開訴訟と開示情報分析
- (5) 全国の先進事例、ネットワークの取り組み調査・研究
- (6) 自然エネルギー普及
- (7) 温暖化防止教育

### 3 各地での取り組みの経験交流・促進

- (1) 環境関連イベント・シンポジウム、ネットワークなどとの交流
- (2) 省エネ相談所協議会
- (3) 首都圏の自治体・地域のNGOとの連携・協力
- (4) 消費者団体等との連携
- (5) ストップ・フロンとの連携
- (6) ヒートポンプ問題連絡会との連携
- (7) 低炭素条例づくりプロジェクトとの連携
- (8) 地球温暖化防止京都ネットワークとの連携
- (9) きょうとグリーンファンドとの連携
- (10) 各地の自然エネルギー学校との連携
- (11) 全国地球温暖化防止活動推進センターとの連携
- (12) きんき環境館との連携
- (13) 温暖化防止ネットワーク関西との連携
- (14) インターンの受け入れ

### 4 国際交渉・政策決定への参画

- (1) COP16/CMP6へ参加（政府代表団・他のNGOとの意見交換、情報提供）
- (2) SB（ボン）、AWG（ボン）への参加
- (3) CAN、GCCA（国際キャンペーン）、CAN Japanへの参加
- (4) 審議会等の政策動向ウォッチ
- (5) 中央政府・国会へのロビー
- (6) 自治体等への働きかけ、政策提言
- (7) 将来枠組みに関する検討

### 5 国内外の市民・NGOへの支援

- (1) 地域温暖化対策促進のための支援・交流
- (2) 地域での講演活動など
- (3) 都道府県地球温暖化防止活動推進センターや地域協議会への協力
- (4) 京のアジェンダ21フォーラムへの協力
- (5) 京エコロジーセンター活動への協力

### ●助成・委託プロジェクト

#### 助成：

- (1) 地球環境基金「地球温暖化防止の国際合意と国内対策促進のリンクプロジェクト」
- (2) フロン対策基金「フロン排出抑制対策のための資料集作成とシンポジウムの開催」
- (3) 三井物産環境基金「プロジェクト・クライメート」

#### 委託：

- (1) 京都市「環境家計簿推進事業」  
市内の5万世帯を目標とする環境家計簿推進事業の最終年として、2万世帯の参加があり、目標を達成した。
- (2) 京都市「こどもエコライフチャレンジ事業」  
京都市内177の市立小学校で、2回の授業、個別の診断書発行のプログラム、人材育成を行った。
- (3) 京エコロジーセンターの委託事業「自然エネルギー学校・京都（第12期）」

- (4) 大阪府八尾市「地球温暖化対策実行計画策定支援」
- (5) 九都県市首脳会議環境問題対策委員会「家庭における給湯設備の比較検討調査」